



広報 なかわだ

第 387号

3 月の予定

教会委員会 3 月 11 日 (日)
共同回心式 3 月 18 日 (日)
子どもと共に捧げるミサ 3 月 25 日 (日)

《註》3 月度の「信徒の会」例会は、共同回心式と重なるため、お休みとします。



2012 年 3月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 24 年 3 月 4 日

Christ carrying the Cross (El Greco 1580s)



『十字架の道行き』および聖週間の典礼へのご参加のお勧めとお願い

主任司祭 小林 陽一

(Ⅰ) 四旬節中の『十字架の道行き』の祈りへのご参加のお勧めとお願い

四旬節中の毎週金曜日、午前 9 時 30 分から約 30 分間、聖堂内にて『十字架の道行き』の祈りが実施されております。

イエス様が十字架を背負って三度お倒れになったことはよく知られております。目前に見えるゴルゴダの丘の前で、最後の一步を登り切る力もなく、イエス様は三度目にお倒れになります。こうしたイエス様のお姿を心に思っても、私たちには十字架を避けようとする別な心があって、キリストの十字架になかなか近づけません。「十字架を避けようとする心を、私たちから取り除き、最後まであなたの道を歩ませてください」と祈ることによって、キリストの受難に近づくことができます。

今年の四旬節中の金曜日に、教会の『十字架の道行き』の祈りに参加して、イエス様の苦しみを感じ取れるよう導きを願いましょう。『十字架の道行き』へのご参加を、是非お願いします。

(Ⅱ) 聖週間中、聖木曜日のミサへの参加のお勧めとお願い

ミサは信者生活の中心であり、キリストと深く一致し、共同体の一人ひとりが互いに一致する恵みを願って、「一致の秘跡」ミサを捧げます。この主旨で捧げるミサが、聖木曜日のミサ、「主の晩餐のタベのミサ」です。

キリストが最後の晩餐を行った、そのみ心に感謝して、共同体が参加するミサでありますので、中和田カトリック教会共同体の多くの方が、できるだけこのミサに参加していただくことが望まれます。同じ一つのパンを分け合って、イエス様と、そして他の信者の皆さんと心をつなげて、このミサを祝いたいものです。この日のミサの説教のあと、洗足式を行うこともあります (任意)。洗足式は、祭壇の前に座った何人かの男性の足を、司式司祭が、タオルを配る人、タオルを受け取る人、湯を沸かす人、湯を運ぶ人などの協力を頂いて、タオルで拭きます。この間、会衆は、謙遜、奉仕を表す聖歌を歌います。

4 月 5 日、聖木曜日、午後 7 時からの「主の晩餐のタベのミサ」に、共同体の皆さんができるだけ参加されますようお願い致します。

(Ⅲ) 聖金曜日の典礼へのご参加のお勧め

この日、祭壇の前に司式司祭がひざまずくところから典礼が始められます。祈願の後、「私のしもべは見るべき面影もなく、輝かしい風格も、好ましい容姿もない。彼は軽蔑され、人々に見捨てられ、多くの痛みを負い、病を知っている」(イザヤ書 53:3) と記された第一朗読、キリストの従順について記された第二朗読、その後、主の受難の朗読となります。キリストが十字架につけられるまで、どのように扱われたか、十字架の上で何に苦しまれたのかが明らかにされます。十字架の崇敬式のあと、交わりの儀で終了いたします。

聖金曜日の典礼は、特別に意味の深い典礼です。是非参加をされますようお願いし、ご出席をお願い致します。



日	曜	典 礼	ミ サ ・ 勉 強 会	備 考
2	金	初 金	初金ミサ (10 時)	掃除、3 月毎金曜 9:30 ~ 十字架道行
3	土		主日ミサ (18 時)	
4	日	四旬節第 2 主日	主日ミサ (9 時)	
10	土		主日ミサ (18 時)	掃除
11	日	四旬節第 3 主日	主日ミサ (9 時)	教会委員会
17	土			掃除
18	日	四旬節第 4 主日	主日ミサ (9 時)	ミサ後、共同回心式
19	月	聖ヨゼフ祭日	祭日ミサ (10 時)	
24	土			掃除
25	日	四旬節第 5 主日	子どもと共に捧げるミサ (9 時)	大掃除 (C,D)、サロン
26	月	神のお告げ祭日	祭日ミサ (10 時)	



2月11日、ルルドにマリア様が初めて御出現になった日、世界病者の日、建国記念日、そして今年は3・11の11ヵ月目にあたる日で、特別な記念日が重なった日に、藤沢教会で行われた春季典礼研修会に参加しました。横浜教区の450名近くの方々が、心に残る充実した一日を過ごされた事と思います。

午前、日本カトリック神学院典礼部講師の白浜満神父様の講話。「罪のゆるしとなる」「新しい永遠の契約の血」の二部にわたってのお話でした。ゆっくりと、とても分かりやすく、イエス様が私達一人も滅びることなく、永遠の命を得るためにご自身を満願の捧げものとして死んでいった事によって、私達皆が救われる事などお話し下さいました。

午後からはカンペンハウド神父様の「ミサは聖霊降臨でもあります」という講話。ミサの中に見える聖霊の働きを、お年を感じさせない熱意をもって、情熱的にお話し下さいました。その後、研修に基づいた典礼と聖書朗読のミサがあり、閉会しました。

いろいろな会や集まりは同じ様な現象なのかもしれませんが、参加者が高齢の方が多かった事。典礼にかかわる人だけではなく、もっと若い方々の参加をと思いました。仕事や子育てに日々大変な現実を過ごしている若い方々が、研修会や講演会に参加して、新しい発見や自分を見直す豊かな時間を持てるように、何らかの形で私達年配者は積極的に手助けをしていきたいものです。

司会者の「最後に一言お願いします」の言葉に、カンペンハウド神父様が「今日の講演は遺言、みんなさんお元気で」。白浜神父様が「また天国で会いましょう」。

私達も、いつの日か再び天の国で会えることを願い、主の道を歩みたいものです。とても有意義で心豊かに過ごした一日でした。

2012年の各グループ・メンバーをご紹介します（表中敬省略）

＜どのグループも、メンバーを募っております。是非、ご参加下さい！＞

	グループ	委 員	グループメンバー（アイウエオ順）
教会委員会	典 礼	大宮（智）	青柳、阿部、岩渕（洋）、下村、森脇、横塚
	財 務	甲斐、山田	岩渕（英）、谷、永島、中村、町田
	宣 教／要 理	井上、石井（悠）	石川、岩崎、要理学校父兄（要理代表窓口：保科）
	営 繕／建物を考える会	福島	岩渕（英）、上野、甲斐、下村、山本（仁）
	福 祉	中島	磯田、今井、楠田、松下、村上、山本
	行 事	—	A、B、C、D各地区代表が分担
	総 務	岩渕（英）	小山（恭）、小山（利）、七浦
	広 報	今井	岩崎、小野
親睦	信徒の会（仮称）	小野（会長）、岩崎（副会長）	どなたでも、いつでも自由参加
教 区	一粒会	井上、石川	
	湘南キリスト教セミナー	武田（幸）	

「横浜教区聖歌の集い」に参加してみませんか

聖歌を通して、神への賛美と感謝を捧げ、同時に信徒相互の繋がりを強め、お互いの教会を知り合うという目的で、毎年5月に横浜地区の教会が集まって、ミサと親睦会を行ってきました。今年で21回目を迎えます。その間、途中からですが、中和田教会もメンバーとして5～6名が参加してきました。

今年の「聖歌の集い」は下記の要領で行われます。ミサ曲はグレゴリア聖歌「天使ミサ」です。聖歌隊員でなくても、歌ってみたい方、個人でも参加できます。聖歌の心に触れながらミサに参加いたしませんか？

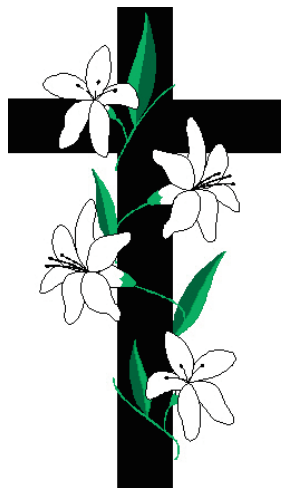
— 記 —

- ・日時：2012年5月13日（復活節第6主日） 14：00～17：00
- ・場所：カトリック戸部教会
- ・司式：アダム神父
- ・練習日：3／11二俣川教会 4／22保土ヶ谷教会 5／6戸部教会
（いずれも14：30～17：00です）
- ・お問い合わせは、大宮まで。

（中和田教会代表 大宮絢子）



「共同回心式」についてのお知らせ



復活祭前の「共同回心式」を次のように実施することとなりました。下記に詳細を記します。どうぞ参加くださいますようお願い致します。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1、日時 | 2012年3月18日（日）午前9時から正午まで |
| 2、指導司祭 | 古川 勉神父様（横浜司教館） |
| 3、テーマ | 信仰を伝える、信仰を証しする |
| 4、場所 | 聖堂 |
| 5、スケジュール | |
| 9:00～10:00 | 主日のミサ（司式：古川神父 共同司式：小林神父） |
| 10:10～10:50 | 講話 |
| 10:50～12:00 | ゆるしの秘跡 |

この後、有志による昼食会を計画中です。

以上

（小林陽一神父 & 典礼グループ）

「信徒の会」：2月度例会から（2月19日）

2月の信徒会が、20名以上の参加者で和やかに行われました。回を重ねて、だんだん参加する方々が多くなって、イエスさまを囲む交わりの輪が温かみを増してくるのを感じます。残念なことは、男性のご参加がやや少ないこと。お時間のある方は、どうぞ進んで加わって下さい。

いつもの通り、小野会長から委員会の報告があり（詳細は「広報なかわだ」をお読み下さい）、次いで、4月後半を目途に信徒会としての「ミニ巡礼」をしてはどうかという提案がありました。交通事情を考えて、平日に行う方向で、船水さんがたたき台を考えて下さることになりました。詳細が決まりましたら掲示を致しますので、よい機会ですから、ぜひご参加ください。

今日の分かち合いは、福祉グループの中島さんのお話をもとに、いろいろ話し合われました。他教会の福祉関連の活動事例が紹介されましたが、外部へ向けての支援ばかりでなく、教会内部で困難を抱えている信徒への（経済的なものも含めて）支援の実態はどうなっているのかという質問も出て、あっと胸を突かれた思いがしました。続いて、中和田教会では、いま何が必要なのかというお話になり、高齢信徒への配慮が必要になってきている現状をふまえ、まず「信徒の会」に参加している我々が、それでは何をして、どう接して欲しいのかを分かち合っていくのがよいのではないか、ということで、これからも続けて話し合っていくことになりました。

個人情報扱いのカベ、ネットワーク作りのカベ……。課題はたくさんあるようです。ご一緒に考えて参りましょう。

3月の例会は、ちょうどその日が「共同回心式」の日で、指導司祭の古川神父様との懇談会も予定されているようなので、3月度の例会はお休みと決まりました。4月は復活祭の後ですね。どうぞ、四旬節をふさわしくお過ごし下さいますように。

（小野 雅彦、岩崎 好愛）



上野委員長の コラム

東日本大震災から間もなく一年が経ちます。震災を契機として「絆」の大切さが言われてきました。この場合の絆はいうまでもなく“人と人との大切な結びつき”を意味しています。この言葉があらためて言われ出した背景には、今の時代では絆が弱体化していることがあるのかも知れません。

絆は個々人が生活する地域社会や職場、学校、団体等々においての日頃の良き人間関係から生まれるものと考えられます。

さて私達の教会共同体においてはどのようなのでしょうか。同じ信仰を持つこと自体が信徒間の関係を良くする基盤であり、これで十分だとも言えるかも知れません。

中和田教会では祭儀以外にバザー、サロン、分ち合いや福祉活動等々の互いの良き触れ合いの機会が多くあります。この触れ合いは信徒間の関係を一層良くし絆を強固にすると思われます。こうした触れ合いの機会を大切にしていきたいものです。



委員会だより

(文中敬省略)

△2月12日(日) 11名出席▽

●報告事項

●3月度スケジュールの確認

・3月予定で、共同回心式の日程は、指導司祭と調整中

・サロンは、予定通り3/25に開催する

●月修資料の確認

・池長大司教書簡「東日本大震災から一年を迎えて」を小林神父が読み上げ、委員会出席者全員で分ち合った

・3/11のミサの「共同祈願」(後述)

・イグナチオ教会の合同祈祷集会(後述)

・「病者の聖体拝領式次第」が改訂された教会で20部購入済み。典礼、聖体奉仕者は、よく読んでおくように(小林神父)

・合同入信志願式が2/26に藤沢教会で梅村司教司式で行なわれる。現在までのところ、中和田で該当者はなし

・横浜天主堂一五〇周年に関連して、列聖列福特別委員会大塚司教の発表があった(記念ミサ日程など)。ヨハネ・パウロ二世の言葉「日本の教会は、殉教者の血を土台にしている」に留意するように(小林神父)

・入管法が改訂された。(総務フォロー)

■各グループからの報告

●典礼：大宮

・今年から復活の主日に初聖体を行なう

・「横浜天主堂献堂一五〇周年の祈り」を3月より、ミサ後のお知らせの時間で、全員で唱えることとする

・香部屋にタンスを購入した。侍者服は全てこれに纏めて保管する

△集会祭儀に関する提案△

・小林神父が不在の日曜日が、7月に予定されている(日取りは未定)。この機会に、中和田で集会祭儀を執り行い、結果を7/29の典礼ミーティ



ングで分ち合いたい。

↓ 提案通り行なうこととして、準備を進める(委員会の結論)

●財務：甲斐

・予算：信徒大会で報告した通りだが、今後、金額の小さな科目は纏めるなど、見易くして毎月報告する

・今年は岩淵さんの支援も頂く

・1月度の月定献金は、前年未払い分も含まれるので、例年他の月より多い

・1月度の支出は、前述の香部屋支出等聖堂改修の未払分の支払を4月頃予定

●宣教：石井(悠)

・リーダー研修会：3/20に二俣川教会で開催される。梅村司教も出席予定

・第5地区要理学校の運動会が5/20に白百合小学校で、8/10、12にサマーキャンプが星美ホーム山中林間寮で、それぞれ開催される

・本年度湘南キリスト教セミナーが、5/26(土)に藤沢教会で開催される。講師は片柳神父。

・泉区民クリスマスでの交流を通して、横浜YMCAから20周年記念行事(泉公会堂)の案内が来ている

・聖歌の集いの第二回目の練習日(2/26)の会場が、中和田教会に決まった。(大宮(絢))

●要理学校：石井(洋)

・初聖体のお勉強を始めている。今年の初聖体は3名を予定している。

●営繕／建物：福島とくに報告事項なし

●福祉：中島

・広報なかわだの2月号に掲載の通り、「布切り」の作業を始める

・バザー残品は、既に殆ど残っていないが、別途また売り出す

★3/11東日本大震災から一年経過したこの時期に、特別献金を募りたい。献金箱を置き、2/19から呼び掛ける。

●行事：地区代表ー大宮(絢)

・とくに報告事項なし

●総務：岩淵

・信徒台帳の内容確認・更新ワークを継続して推進中(他教会から、確認結果連絡なども送られて来ている)

●広報：小野 とくに報告事項なし

●信徒の会：小野 とくに報告事項なし

■討議事項

△信徒大会の反省・課題△

・参加者がいかに少なく、従って、教会が抱えている課題も多くの信徒に理解して共有して頂くことが出来ていない、

・(受身ではなく)自ら参画意識を強く持つて頂くことが必要、

↓根本課題であるが、継続的に考えていきたい

●教会委員会の時間確保について

・是非、アイデアを出して欲しい。そして、何回かは土曜日に開催する方向で考えて欲しい(上野)

●バザーについて

・2/26に「今後のバザー運営」に関する打合せを関係者で行なうが、教会委員会でも『参考意見』を募った。

△いくつかの『参考意見』△

○信徒大会で提案された、岩崎さんの試案でよいのではないかと

○開催時期を変えたらどうか(秋・春)時期が変われば、出し物も、信徒の負担も変わってくるのでは。

○今まで通り続けたい。止めるのはいつでも止められる。人数確保がたいへんなら、仕事を細分して、事前に指名して担当を明確にして、それを徹底すればよいのではないかと。

○無理のない範囲で続けたい。いろいろな仕事があるが、「事業仕分け」が大切。バザーは外に開かれた、大勢参加のお祭であり、続けるべきと考える。出来ないことをはっきりさせて企画・準備する。

○大雑把にバザーの可否を議論するのはなく、「どの部分が問題なのか」をはっきりさせて議論した方がよい。出来ないことは「外部委託」という手立てもある

○若い世代の参画が少ないと叫ばれているが、バザーの目的をはっきりさせ、例えば、前日の準備(土曜日)が終ったら、(飲み会含めて)コミュニケーションの機会をつくったらどうか(バザー当日(日曜日)は、翌日の仕事で参加に躊躇するが、土曜日なら可能性はあるのでは)。

●「合同で祈る」提案

・3/11大震災について、(泉区民クリスマスで交流している)泉区在住のキリスト教関係団体と合同で祈る場をつくれなにか(石井(悠))

↓時間的に無理があるので、まずは叩き台をつくって頂き、それをベースに議論することとした(上野)

↓この提案自体、クリスマス一点集中を超える提案であり、良い方向と思う(岩淵)

■小林神父の話(議論済みの項目を除く)のため祈り

・3/11の四旬節第3主日ミサで、司教協議会による公式祈願(集会祈願、奉納祈願、拝領祈願)を唱える

・当日の共同祈願は、「聖書と典礼」に掲載されている例文に頼らずに、小教区として作成して唱えるように

・以上を3/5のミサ後のお知らせで、説明すること

●追悼ミサ等

・2/15に東京カテドラルにて池長大司教はじめ司教団による「犠牲者追悼と復興祈願の集まり」が、3/11にイグナチオ教会にて合同祈祷集会が、それぞれ行なわれる。小林神父は両方とも出席する

以上



(次回は3月11日)